

大阪国際音楽コンクール

審査員による

チャリティーコンサート



ギオルギ・パプアゼ (Vn.)



ザザ・ゴグア (Va.)



岡田 将 (Pf.)



田村 麻子 (Sop.)

～ Program ～

バッハ：インヴェンションより
イギリス組曲より

ピアノ：アヴェ・マリア
アディオス・ノニーノ

モシュコフスキー：スペイン奇想曲

別宮貞雄：さくら横丁

サン＝サーンス：アヴェ・マリア

ドヴォルジャーク：オペラ「ルサルカ」より 白銀の月よ
他

※ 内容が変更になる場合がございます。

2021年 **10月8日(金)**

19:00開演 (18:30開場)

兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール

チケット取扱い
お問い合わせ

入場料：3,000円 [全席自由]

主催 一般社団法人 大阪国際音楽アカデミー
大阪国際音楽振興会

大阪国際音楽コンクール事務局 TEL:06-6625-5931

<https://www.osakaimc.com> E-mail: inquiry@osakaimc.com

後援 大阪御堂筋本町ロータリークラブ

※ コンサートの収益金は、『あしなが育英会』に寄付します。

ギオルギ・バブアゼ Violin



ジョージアのトビリシ出身。国立トビリシ音楽院でヴァイオリンをシウカシュヴィリ教授に師事。また在学中よりモスクワでボロディン弦楽四重奏団のベルリンスキー氏に弦楽四重奏を学ぶ。卒業後は研究科を経て大学院に進み、指揮法をデミトリアディ氏に師事。1990～93年ジョージア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督および首席指揮者を務め、フランス、ドイツへ演奏旅行する。1993年にイタリアへ渡り、ジョージア弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。1996年に大阪シンフォニカー交響楽団のコンサートマスターとして来日。1998年よりトビリシ弦楽四重奏団、メンバー参加。2001年より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。2004年ジョージアのボルジョミで開催された国際音楽祭で、ジョージア国立室内合奏団を指揮し、また同合奏団を率いてドイツ演奏旅行を成功させる。2005年、関西シティフィルハーモニー交響楽団の常任指揮者、ジョージア国立歌劇場の客演指揮者に就任。2010年よりジョージア国立交響楽団、ジョージアン・シンフォニエッタ室内オーケストラ、トビリシ音楽院交響楽団の首席指揮者に就任。2011年よりルーマニアのスプリング・フェスティバルに招かれ、オラデア・フィルハーモニーを指揮。これまでに阪大オペラ、堺オペラを指揮。現在、指揮者、及びヴァイオリン奏者としてリサイタル、室内楽の分野で演奏活動を行う傍ら、京都市立芸術大学でヴァイオリン専攻非常勤講師、2018年1月「音楽クリティッククラブ賞奨励賞」をアフター・アワーズ・セッションのメンバーとして受賞。2019年11月に「大阪府市民表彰」、音楽を通じた日本とジョージア間の交流及び友好親善促進への貢献が評価され、令和元年秋の叙勲において「旭日単光章」を受賞。

ザザ・ゴグア Viola



ジョージア(旧グルジア)の首都トビリシに生まれる。国立トビリシ音楽院卒業。モスクワ音楽院大学院修了。大学院では、ユーリ・バシムメット氏に師事。在学中より、グルジア国立室内管弦楽団ヴィオラ奏者就任、また修了後はトビリシ交響楽団ヴィオラ首席奏者として活動する傍ら、トビリシ国立芸術アカデミー専任講師として指導も行った。その後、渡独し、2年間ドイツ・インゴルシュタット室内管弦楽団ヴィオラ首席奏者として各地で演奏活動を行った。1996年、大阪シンフォニカー交響楽団(現・大阪交響楽団)のヴィオラ首席奏者として来日。1998年には、トビリシ弦楽四重奏団を結成し、メンバーと共にこれまで毎年演奏会を開催している。アンサンブル金沢客演ヴィオラ首席奏者を経て、2008年より現在に至るまでアンサンブル・神戸及びハーモニア室内管弦楽団のヴィオラ首席奏者を務めている。また、ヴィオラ奏者として演奏活動を行う傍ら、河内長野フィルハーモニックの常任指揮者を務めるほか、弦楽器、室内楽、オーケストラ等の後進の指導にも力を注いでいる。「Zaza Gogua Viola Album」、「ジョージアと日本のかけ橋」等のCDを制作。また、ギターと歌の弾き語りも得意で、「グルジアの夜」と「我がトビリシよ」のフォークソングのCDも制作し、TV番組で歌うなど幅広い音楽活動を行っている。

岡田 将 Piano



福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部で第一位受賞。92年第61回日本音楽コンクール第一位、併せて野村賞、E・ナカミチ賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。97年アルトゥール・シュナーベルコンクール第一位とスタインウェイ賞を受賞。99年にはオランダの第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝し、ドイツ国内を中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催。ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演し大きな成功を収めた。日本では、新日鉄コンサート、日本シヨパン協会例会、故園田高弘氏の推薦によるトッパンホールの「旬のピアニストシリーズ」に出演。圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得、大きな反響を呼んだ。04年、オール・リストによるデビューCDもリリース。02年第12回出光賞受賞。03年第29回日本シヨパン協会賞受賞。2007年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学で後進の指導にあたっている。2011年にはリスト生誕200年を記念し、東京と神戸でオール・リスト3回シリーズを開催。NHK-FMで放送されるなど、大好評を博した。2013年春には「パッハ：パルティータ全6曲を一晩で演奏し、音楽界の大きな話題となった。2014年から、2年間にわたるベートーヴェン：ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)を開催。

田村 麻子 Soprano



国立音楽大学声楽科、東京藝術大学大学院、マネス音楽院(米)首席修了。W杯前夜祭3大テナーコンサートで故リパヴァロッティ等と共演。リンカーンセンター(NY)でのデビューではニューヨークタイムズ紙に「輝くソプラノ」と評された。米大リーグのナショナルズ対ヤンキース戦にて外国人歌手初のアメリカ国歌斉唱を行う。

これ迄メトロポリタン歌劇場管弦楽、BBC交響楽団、LAシンフォニー、ローマ祝祭管弦楽等、シカゴフィル等多くのオーケストラと共演。オペラでもロイヤルアルバートホール(蝶々夫人)、伊国立カリアリ歌劇場(ルチア)、ハンガリー国立歌劇場(椿姫)他、欧米各地の歌劇場で主役を務め、各国メディアにて高い評価を受ける。

日本でも主要オーケストラと共演、全国各地でのコンサートや題名のない音楽会、NHKニューイヤーオペラコンサートなどテレビやラジオ出演など活躍の場を拡げる他、後進の指導や各地に招かれ、マスタークラス等も精力的に行っている。

www.asakotamura.com

山本 京子 (arr.)



神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。卒業後は演奏活動や後進指導のかたわら、子供のための作品を作曲、発表。朝日放送制作のドラマの音楽を作曲、演奏。2000年より主にピアノソラ作品の編曲楽譜の出版を重ねている。ヨーヨー・マ、キャサリン・ストット、アシュレー・ウェイス、ティーネ・ティンク・ヘルセット、マリアンナ・シリニャン、赤松林太郎、アルゲリッチ・プレゼンツ・プロジェクト、klangfruehling音楽祭(オーストリア)、ロンドン・ピアノ・フェスティバル、山中湖国際音楽祭などに作品を提供。2011年よりアルゲリッチ・プレゼンツ・プロジェクトの作曲家に登録されている。

金澤 みなつ (acc.)



愛知県立芸術大学を経て、同大学大学院博士前期課程を首席で修了。ムーランダンテ音楽祭(フランス)にてディプロム取得。2017年、2019年カーネギーホールにてガラコンサートに出演。2020年NHK-FMリサイタル・パッシオに出演。クラシックのみならず、NHK土曜時代ドラマ「アシガール」、NHK連続テレビ小説「スカーレット」などの劇伴ピアノを担当。

大阪国際音楽コンクール、名古屋トロンポーンコンペティションの公式伴奏者を務める。国内外でソロリサイタルを開催、また室内楽奏者としても多くの演奏家と共演している。



兵庫県立芸術文化センター：兵庫県西宮市高松町2-22